

令和4年度一般社団法人全国技能士会連合会会費改定のお知らせ

「構成員1人につき100円。ただし最低10万円」から「構成員1人につき200円」に改定
当協会は年額10万円から5万円程度に減額

岩手県技能士会は一般社団法人全国技能士会連合会に加入しており、毎年度一〇万円の会費を納入しています。令和三年六月二二日（火）に全技連の定時総会が東京都内のアルカディア市ヶ谷で開催され、令和四年度から会費を改定する旨議決されました。これまでは「構成員の数一人につき年額一〇〇円。ただし最低一〇万円」と規定されていましたが、「構成員の数一人につき二〇〇円」となります。当技能士会では、年一〇万円から五万円程度に納入会費が減額となります。しかし、多くの都道府県技能士会では増額となりますことから、反対の声が多く、議決までに時間を要していました。全技連では、九年前から国の補助金がなくなり、以後、厳しい財政状況が続き、このままでは全技連が法人として運営ができないことを理由として会費の値上げを提案しました。

都道府県技能士会としては会員は減少傾向にあり、会費の値上げは厳しいことから、全技連の事業の見直しや事業の効率化を会費値上げの前に実施すべきなどの会費値上げに反対の意見もありました。一方、技能士の意見を代表する全国団体は引き続き存置する必要があることなどから、値上げは止むを得ないとする意見もあり、定時総会では賛成多数で議決されました。当協会では実際上会費が値下げとなり、特段反対する理由がないことから賛成といたしました。こうした議論の中で、各地方の一人ひとりの技能士にとって全技連に加入しているメリットを感じにくいという点をどう解決していくのか、大きな課題は残っていると思いません。

令和3年度前期技能検定の実施状況

令和3年度前期技能検定の合格発表が令和3年10月1日（金）に行われました。受検申請者は、885名で一昨年度前期の999名に比べ114名減少しました。特に、3級は208名で一昨年度前期の318名に比べ110名減少しました。
(令和2年度前期は中止)



()内は令和元年度前期技能検定 単位 人・%

	受検申請者	学 科		実 技		技 能 検 定 合格者	合 格 率
		申請者	合格者	申請者	合格者		
1 級	293(266)	232(187)	156(116)	252(232)	145(130)	144(117)	49.1(44.0)
単一等級	37(18)	22(11)	17(10)	37(18)	20(10)	20(10)	54.1(55.6)
2 級	347(397)	231(242)	157(172)	263(272)	148(159)	200(242)	57.6(61.0)
3 級	208(318)	180(282)	149(256)	186(273)	162(218)	160(248)	76.9(78.0)
合 計	885(999)	665(722)	479(554)	738(795)	475(517)	524(617)	59.2(61.8)

令和3年度後期期技能検定の実施

- 1 受付期間 令和3年10月 4日(月) から
10月15日(金) まで
- 2 試験期間 令和3年12月 3日(金) から
令和4年 2月13日(日) まで
- 3 合格発表 令和4年 3月11日(金)
- 4 実施職種

特級 (18 職種)

金属熱処理、機械加工、放電加工、工場板金、めっき、仕上げ、機械検査、ダイカスト、電子機器組立て、電気機器組立て、半導体製品製造、自動販売機調整、空気圧装置組立て、建設機械整備、婦人子供服製造、紳士服製造、プラスチック成形、パン製造

1 級及び 2 級 (26 職種0 作業)

さく井、工場板金、機械検査、電気機器組立て、半導体製品製造、自動販売機調整、時計修理、空気圧装置組立て、農業機械整備、冷凍空気調和機器施工、婦人子供服製造、和裁、帆布製品製造、プリプレス、建築大工、かわらぶき、配管、厨房設備施工、型枠施工、鉄筋施工、コンクリート圧送施工、防水施工、樹脂接着剤注入施工、ガラス施工、金属材料試験、塗装

単一等級 (1 職種 作業)

バルコニー施工

3 級 (6 職種 作業)

機械加工、機械検査、電子機器組立て、電気機器組立て、建築大工、配管

技能検定問合せ先 岩手県職業能力開発協会
(019-613-4620) 又は県内各地区職業訓練協会

若年者ものづくり競技大会の状況 敢闘賞2名

職種	祝 敢闘賞	所 属
建築大工	柏葉幸太郎	岩手県立産業技術短期大学校
	田中 愛華	岩手県立二戸高等技術専門学校

第16回若年者ものづくり競技大会が令和3年8月4日(水)から5日(木)まで愛媛県松山市で開催されました。本県の参加選手はコロナウイルス感染症の影響で例年より少ない7職種11名となりましたが、敢闘賞2名が入賞しました。

投稿等をお願い

皆様に投稿をお願いします。
内容は、情報提供・御意見・写真など、また会員個人の趣味に関することでも構いません。
投稿先は当会報の発行元となります。

入会のお勧め

未入会の技能士の皆様、ぜひ地区技能士会や職能別技能士会へご入会をお願いします。
仲間が歓迎いたします。



編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響が続いている。多くのイベントが中止や縮小となっており、岩手県職業能力開発協会が主催するイベントも見直しが必要になっている。各会員の業務での影響も大きいと推察している。また、会員の皆様には引き続き御自愛をお願いします。

さて、コロナ禍での国の雇用調整助成金の支出が令和三年七月で四兆円を超えた。雇用調整助成金の財源である雇用保険会計の雇用保険二事業会計は枯渇し失業等給付に用いる積立金をあてても不足する事態となっている。

岩手・宮城内陸地震が発生した平成二〇年度の雇用調整助成金の当初予算額は、一億円で、雇用調整助成金制度を知らない方がほとんどだったと思う。その後、リーマン・ショック時、東日本大震災津波時の雇用不安に対応するため予算規模が大きくなった経緯がある。

これまで意識することはなかったが、技能検定、認定職業訓練団体への補助金、都道府県職業能力開発協会への補助金、また、ものづくりマイスターなどの厚生労働省委託事業は、この雇用保険二事業の中に位置づけられている。令和四年度の厚生労働省の概算要求では、在職していない者の技能検定料の減免のための予算が要求されているなどの影響が出ている。

今後、令和四年度の政府予算編成の中で、雇用保険会計の財源を確保するため、雇用保険料の引上げや一般会計からの繰入の議論が進むと考えられ、注視する必要がある。

なお、コロナの影響で技能五輪国際大会が令和四年度開催となることから技能グランプリ大会は令和四年度概算要求に盛り込まれず、五年度開催となる見込みである。

発行日 令和3年10月1日

発行元 岩手県技能士会 020-3615紫波郡矢巾町大字南矢幅10-3-1 岩手県立産業技術短期大学校内

TEL 019-613-4620 FAX 019-613-4623 E-メール iwate@noukai.com

発行責任者 岩手県技能士会専務理事 寺本樹生